

平成28年度行政評価 施策評価シート (平成27年度実績)

施策名 歴史文化の保存継承と情報発信

施策コード 020302

1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり(教育・文化)	節 第3節 歴史・文化
	施策	歴史文化の保存継承と情報発信	

**基本方針**

- ・歴史館いずみさののより一層の活用を図ることにより、市民が地域の歴史や文化に誇りと愛着を持てるよう市内外にその魅力を発信します。
- ・日根荘や佐野町場などの魅力的な歴史的資源を市民と共に積極的に保存、活用し、魅力ある街づくりに役立てます。
- ・歴史資料や郷土資料などの保存とともに、公開を進めます。

**現況と課題**

- ・日根荘を中心とした中世荘園のテーマ館として歴史館いずみさのを運営しています。また、今後、この施設の機能を充実させるとともに、泉州地域を中心とした歴史や文化についての各種資料の収集、保存及び活用に努める必要があります。更に、市民の歴史や文化についての学習ニーズに応える必要があります。
- ・市内には、数多くの歴史的資源が存在しており、その資源を活用し、市民と協働して魅力あるまちづくりに役立てる必要があります。
- ・新修泉佐野市史の編さん過程で歴史、郷土資料を収集しましたが、今後活用する必要があります。
- ・小学校、中学校の歴史教育や地域教育について、児童及び生徒がより具体的な教材を活用して学習を進めることができるよう、より効果的な各種の資料を提供し、学校教育との連携を図る必要があります。

**施策目標**  
対象(誰を、何を、どこを)

市民

**意図(どのような状態にしたいのか)**  
歴史文化遺産を市民共通の財産として継承・発展していくことで、市の魅力向上・活性化を図ります。

3. 市民ニーズ							
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
満足度(偏差値)		60.0					
重要度(偏差値)		43.1					

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H26決算	H27決算					
コストの内訳	人件費	千円	32,115	31,330				
	事業費		4,600	5,698				
	フルコスト		36,715	37,028				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		674	1,290				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		36,041	35,738				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		3,926	4,408				

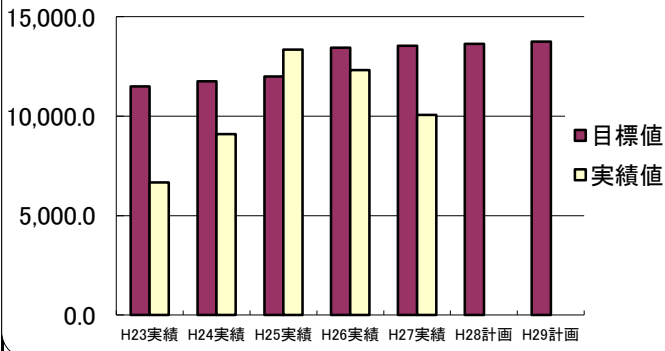
5. 施策の成果指標

① 成果指標 1 歴史館いずみさのの年間利用者数							
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	11,500.0	11,750.0	12,000.0	13,446.0	13,546.0	13,646.0	13,746.0
実績値	6,659.0	9,104.0	13,346.0	12,320.0	10,065.0		
達成度	57.9	77.48	111.22	91.63	74.3		

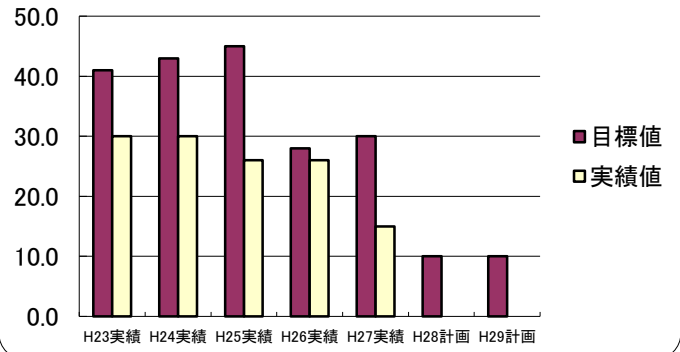
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
歴史的文化事業の推進の中心的役割を担う歴史館いずみさのの入館者数を把握することで、市民の歴史文化に関するニーズに対して情報発信ができていくかどうかの指標となる(常設展入場者+特別展・企画展入場者+特別展示入場者+普及啓発事業参加者)。	歴史館では平成25年度より入館料を無料とした。その関係で平成25年度は、大幅な利用者の増加となった(146%の増加)。そのため、平成25年度の数字を新たな基準値として、そこから年間100人づつ増加することを目標としたため。	平成28年度よりの指定管理者制度への移行に伴い、3月に約3週間の閉館を行ったこと、指定管理者制度移行のための準備で、講座回数が減少したため。

② 成果指標 2		歴史館活動協力員（ボランティア）の総登録者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	41.0	43.0	45.0	28.0	30.0	10.0	10.0
実績値	30.0	30.0	26.0	26.0	15.0		
達成度	73.17	69.77	57.78	92.86	50.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
歴史館活動協力員は、歴史館の様々な活動について、協力を行うボランティア組織。ここへの登録者は、歴史や文化に対して、深い知的欲求や関心を持っていると考えられるので、これを把握することによって、市民の歴史や文化に関するニーズの深まりの指標となる。		平成25年度にボランティアの登録名簿を整理したところ、26人となった。そのため平成25年度の26人を新たな基準値とし、毎年2人づつの増加を目標とした。平成28年度より指定管理者制度へ移行するため、平成27年度段階で今までの活動内容による組織は終了した。平成28年度以降の組織及び活動内容については、指定管理者が検討を行っている。		ボランティア登録者の高齢化による登録の廃止、新規登録者が少なかったため			
③ 成果指標 3		歴史館いずみさの普及啓発事業の参加者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	788.7	867.6	954.4	1,049.8	1,154.8	1,269.4	1,395.0
実績値	1,105.0	1,099.0	1,264.0	1,113.0	792.0		
達成度	140.1	126.67	132.44	106.02	68.58		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の持つ歴史や文化に関するニーズに応えるため、さまざまなテーマに基づいた、普及啓発活動を行っているが、その参加者数を把握することによって、歴史資料や郷土資料の活用が図られているかどうかという指標となるため（特別展講演会+古文書講座+日根荘講座+絵図ウォーカー+日本神話講座+いずみさの検定）。		めざそう値の設定年度である平成22年度を基準値として、そこから毎年10パーセントの増加を目標としたため。平成30年度に1537.0人を見込んでいる。		平成28年度よりの指定管理者制度への移行に伴い、3月に約3週間の閉館を行ったこと、指定管理者制度移行のための準備で、講座回数が減少したため。			
④ 成果指標 4		歴史館いずみさの利用者満足度					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	75.5	80.0	80.5	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	79.7	87.9	85.4	82.0	88.8		
達成度	105.56	109.88	106.09	91.11	98.67		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の郷土の歴史及び文化に対する関心を高めるために行っている各種事業についてのアンケート調査により、利用者の満足度を把握することで、歴史館いずみさのより一層の活用を図る指標となるため。		かつてはめざそう値の設定年度である平成22年度を75パーセントとして、そこから毎年0.5パーセントの上昇を目標としていたが、平成24年度の達成度109.87、平成25年度の達成度106.08をもとに、平成26年度の目標値の88.0%を新たな基準値として、再度見直しの設定を行い、さらに平成30年度まで90%を目指す。		特別展示、普及講座でのアンケート結果が高かったため			
⑤ 成果指標 5		出前授業などの館外・館内における普及事業への参加者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値		1,205.0	1,325.5	1,458.1	1,603.9	1,764.2	1,940.0
実績値		1,205.0	1,135.0	983.0	1,211.0		
達成度		100.0	85.63	67.42	75.5		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
歴史館いずみさのでは、小中学校に対する出前授業や、文化関係団体の講座や公民館等の講座、現地見学会などに講師として学芸員を派遣している。これらの普及事業への参加者数も、歴史館いずみさの利用者とみなされるため。		めざそう値の設定年度である平成24年度の1205人を基準値として、そこから毎年10パーセントの増加を目標としたため。平成30年度に2134.7人を見込んでいる。		小、中学校では、利用のある学校とない学校の差が激しく、さらなる出前授業等による効果の周知による出前先の確保。小、中学校以外での職員（学芸員）の派遣先の確保。			

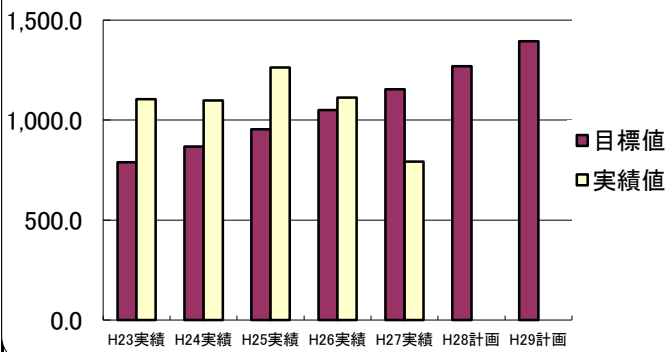
成果指標①



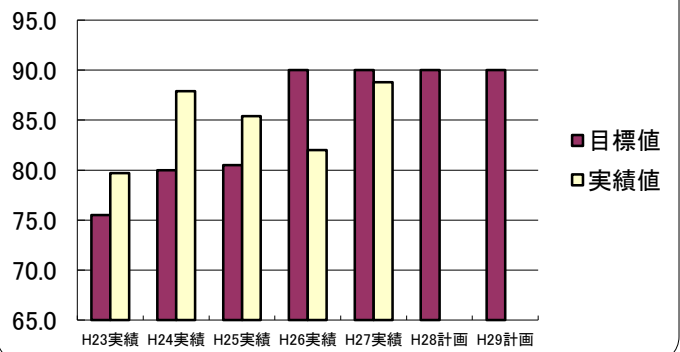
成果指標②



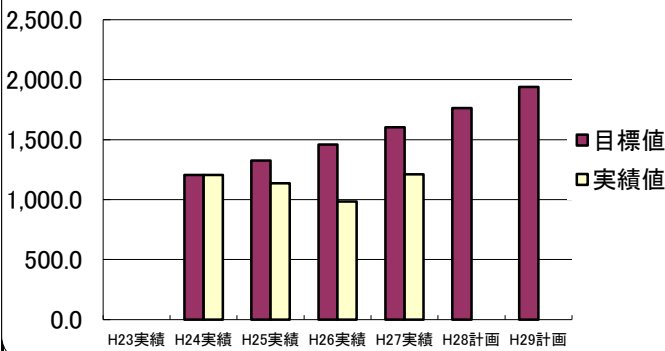
成果指標③



成果指標④



成果指標⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>1</b>	入館料の無料化に伴い、利用者数は大幅な増加をみたが、以降の伸びがないため、新規とともにリピーター数を伸ばす必要がある。普及事業について、これまでの講座の充実とともに新たな講座を開講を求める声もあることから、より充実し普及啓発に努める必要がある。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>3</b>	博物館施設は、すべての市町村に設けられている施設ではないが(和泉地域で博物館法に基づく博物館施設を設けているのは、堺市・泉大津市・和泉市・岸和田市・泉佐野市の5市)、満足度(偏差値)は88.0と高く、市民ニーズは高い。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	平成20年(2008年)に博物館法の改正が行われた。これは平成18年(2006年)に行われた教育基本法の改正をうけて行われたもので、教育基本法に生涯学習の理念についての条文が規定されたことと関連して、学校、家庭、地域など、「社会全体が協力して教育改革に取り組むことが重要」との現状認識に基づいて行われた。その中には、地方公共団体が果たすべき役割が明示されている。
	合計点	(10点中) <b>6点</b>	
	総合評価	<b>C</b>	指定管理者制度への移行に伴い、3月に約3週間の閉館を行ったこと、指定管理者制度移行のための準備で、講座回数が減少したため。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>C</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価(理事者による評価)	<b>C</b>	引き続き目標値の達成に努めること。 指定管理者と連携して普及促進を図ること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H27年度決算額			H28年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01059100	歴史館運営事業	11,851	2,293	1,105	0	F
2	01060900	展示・普及啓発事業	12,277	419	317	0	F
3	01061000	調査研究・資料収集管理事業	5,072	279	279	0	F
4	01061700	文化財施設管理事業	2,130	2,707	2,707	2,920	B
合計			31,330	5,698	4,408	0	